

## 【ロシア】 デジタル放送化に向けた法整備

海外立法情報課・津田 憂子

\* ロシアでは、2015 年までにテレビ放送がアナログからデジタルへ全面移行される予定である。2009 年 6 月 25 日、テレビ及びラジオの義務的全国放送に関する大統領令が公布された。国民に情報を提供する無償メディアのリストが作成されるなど、デジタル放送時代を迎える準備が段階的に進められている。

### 「テレビ・ラジオ放送発展委員会」の設置とデジタル放送への全面移行

広い国土を抱えるロシアでは、アナログのテレビ放送を十分に受信できない辺境地域や村落部が多数存在し、視聴できないチャンネルや低画質の問題を解決するための対策を講じる必要に迫られていた。この問題に対処するため、2006 年 5 月 22 日付政府決議により、メドベージェフ第一副首相（当時）率いる「テレビ・ラジオ放送発展委員会（以下、「発展委員会」という）」が新設された。発展委員会は、国民全員が数多くのチャンネルを高画質・高音質で視聴することができることを目指して、「2008 年-2015 年間のロシアにおけるテレビ・ラジオ放送の発展構想」を作成し、2015 年までにテレビ放送をアナログからデジタルへ全面移行する計画を打ち出した。

大統領に就任したメドベージェフは、今度はサビャーニン副首相を発展委員会の議長とし、デジタル放送化に向けた法整備を進めていった。2008 年 12 月 16 日、発展委員会会議が行われ、「2009 年-2015 年間のロシアにおけるテレビ・ラジオ放送の発展」に関する連邦特別プログラムの構想がようやく採択された。

この構想に基づいて、2009 年 6 月 25 日に、大統領令第 715 号「テレビ及びラジオの義務的全国放送について」が公布され、同日施行されるにいたった。この法律の目的は、マス・メディアの自由を保障し、社会的に重要な情報を国民が入手するための前提条件を整備することにある。法律の概要は以下の通りである。

### テレビ及びラジオの義務的全国放送の実現

- ・ テレビ及びラジオの義務的全国放送（以下、「義務的全国放送」という）は、視聴者が無償で利用することができ、ロシア全土に普及しなければならないものである。
- ・ 義務的全国放送のロシア全土における地上中継、及び中継のための地上デジタルネットワークの構築及び拡大は、連邦国営単一企業「テレビ・ラジオロシアネットワーク」がこれを行うこととする。
- ・ 義務的全国放送の地上デジタル放送中継は、放送ゾーンごとに 1 つの周波数帯を利用して行われる。

### 新しいテレビチャンネルの開局

- ・ 2011年1月1日までに青少年用のテレビチャンネルを開設する政府提案が受理される。
- ・ (子供向けの) テレビチャンネルの名称は、「テレビ子守」(非公開株式会社「第一チャンネル・全世界ネットワーク」が直営)とし、青少年向けのテレビチャンネルの名称は、「ビビゴン」(連邦国営単一企業「全ロシア国営テレビ・ラジオ会社」が直営)とする。

### 政府の活動内容

- ・ 義務的全国放送の拡大及び中継に必要な措置を講じ、(放送を許可する)ライセンスを交付する。
- ・ 義務的全国放送を行うテレビ・ラジオ組織に対し、連邦国営単一企業「テレビ・ラジオロシアネットワーク」からの助成金を、政府が定める手続に従って供与する。この助成金は、2010年から2011年までは人口20万人未満の居住区において地上デジタルネットワークの拡大に当てられ、それ以降は人口10万人未満の居住区における同ネットワークの拡大のために用いられる。
- ・ 「2009年-2015年間のロシアにおけるテレビ・ラジオ放送の発展」に関する連邦特別プログラムに従って、義務的全国放送の中継のための地上デジタルネットワークの構築及び拡大にともなう財政的措置を講ずる。

### 無償で視聴できるテレビチャンネルのリスト

- ・ 全ロシア国営テレビチャンネル「文化」
- ・ 青少年テレビチャンネル
- ・ 全ロシアテレビチャンネル「スポーツ」
- ・ 第1チャンネル
- ・ ペテルブルク・第5チャンネル
- ・ ロシア情報チャンネル
- ・ テレビ組織 NTV

### 無償で視聴できるラジオチャンネルのリスト

- ・ 報道 FM
- ・ ラジオ・マヤーク
- ・ ロシアのラジオ

注(インターネット情報はすべて2009年7月21日現在である。)

- ・ 2009年6月24日付大統領令第715号「テレビ及びラジオの義務的全国放送について」の原文に関しては、大統領府ホームページより、以下を参照。

<<http://document.kremlin.ru/doc.asp?ID=053066>>